

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	通信会社（企画担当）	・デジタルトランスフォーメーションに取り組む企業の増加が加速するため、デジタル関連業界は景気が更に良くなる。
	○	一般小売店〔珈琲〕（経営者）	・ワクチン接種率の上昇に伴い、人の動きが戻ると予想される。
	○	百貨店（売場主任）	・自粛疲れによる外出の増加で、来客数が増えている。また、高額品の売行きが伸びており、海外への渡航などを控えた分が、ぜいたく品などの消費に回る傾向がみられる。
	○	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染の沈静化が期待できる。それに伴い、来客数も増えることから、現状よりも良くなることが予想される。ただし、新型コロナウイルス発生前のライフスタイルには戻らず、売上も戻らないと考えられるほか、取引先も商品供給の抑制を図るなかで、大幅な改善は期待できない。
	○	百貨店（企画担当）	・ワクチン接種が行き渡るため、良くなる予想しているが、直近の新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ると、簡単にはいかないとも感じられる。
	○	百貨店（営業推進担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加は続くが、ワクチンの接種が進むことで、病床の利用率や重症者数が大きく増えないことが予想される。また、ワクチンを接種済の客を中心に、抑えられていた消費マインドが活発化してくる。
	○	百貨店（販売推進担当）	・秋にはワクチン接種もかなり進む。旅行者などが増えれば、それに伴って関連商材の売上も上向きになると期待している。
	○	百貨店（外商担当）	・百貨店の主要客である高齢層のワクチン接種がほぼ完了となるほか、中年層の接種も進むことから、新型コロナウイルスの感染が抑えられ、消費意欲の向上が予想される。
	○	百貨店（商品担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大で、東京オリンピックは無観客で開催されている。関係者や市民の感染防止などの動きが抑制効果となり、消費へのプラス効果はかなり控えめとなる見通しである。またワクチンの接種は、供給の減速でペースダウンしている。コロナ禍以前の日常生活を取り戻すのはまだ先となるなか、秋の衆議院選挙も絡み、景気の回復には時間を要すると予想される。
	○	百貨店（販促担当）	・ワクチン接種が更に進み、新型コロナウイルスの重症者数が増えなければ、消費の増加が期待できる。秋口の衆議院選挙も控え、景気対策の実施にも期待できる。それに伴い、秋～冬にかけては本格的な消費の反動増が期待でき、御褒美消費などにスポットを当てた品ぞろえで需要を喚起したい。
	○	百貨店（サービス担当）	・状況は現状と大きく変わらず、東京オリンピックや夏休み、お盆休みなどの効果で購買意欲が増すと予想されるが、新型コロナウイルスの感染者数の増加が懸念される。
	○	百貨店（服飾品担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えているものの、ウイルスへの慣れで、客の心理が前向きになっている感覚もあり、ワクチン接種後の来店が徐々に増えている。まだ予断は許されないが、ネット通販やリモート販売といった新しい買い方が浸透する一方、やはり店頭での買物体験を楽しみたいというニーズによって、買上率の上昇につながっている。
	○	百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種が20～30代でも進み、新型コロナウイルスの感染者数が減少に向かえば、消費が戻ってくると予想される。
	○	百貨店（外商担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が急増しているが、想定範囲内で収まれば、今後も良くなる。特に、長らく買い控えが続いていた富裕層の高齢者については、9月初旬頃からの来店が増加が見込まれる。
	○	百貨店（売場マネージャー）	・東京オリンピック開催後の、新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、一定の収束に向かえば景気の改善が見込める。
○	百貨店（売場マネージャー）	・当店の商圏内のほか、和歌山県全体でもワクチン接種が進んでおり、接種を終えた65歳以上の客が増えつつある。今後は来客数の増加とともに、旅行用品や身の回り品などの消費拡大につながってくる。	

<input type="radio"/>	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの影響は出るものの、ワクチン接種などが進み、以前のような悪化が続くとは考えられない。
<input type="radio"/>	コンビニ（店員）	・暑さの影響で、冷たい物が売れる。
<input type="radio"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・ワクチン接種が進み、人流や消費が増えるため、少しずつ景気は回復していくと予想される。
<input type="radio"/>	高級レストラン（企画）	・ワクチン接種による旅行需要の回復のほか、Go Toキャンペーン、自治体による観光支援事業の再開により、やや良くなる。
<input type="radio"/>	都市型ホテル（総務担当）	・ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染による死亡者数も減少する。安全を確保することで、人の往来も少しずつ増えると予想される。
<input type="radio"/>	都市型ホテル（客室担当）	・東京オリンピックによる新型コロナウイルスの感染拡大は気になるが、ワクチンの接種率が上がれば、抑えられていた観光需要が回復する。
<input type="radio"/>	旅行代理店（役員）	・旅行に対する県民割が始まれば、近郊への旅行需要の更なる拡大が期待できる。
<input type="radio"/>	タクシー運転手	・自粛疲れや、ワクチン接種による安心感もあり、外出が増えつつある。新聞をみても、旅行の折込チラシが増えているため、今後はホテルや駅周辺の人の動きに期待している。
<input type="radio"/>	タクシー運転手	・東京オリンピックが開催されていることもあり、少しずつ活気が戻ってきたと感じる。
<input type="radio"/>	通信会社（経営者）	・製造業を中心とした受注状況の改善が期待される。
<input type="radio"/>	通信会社（社員）	・自宅で楽しむというトレンドは、当分変化しにくい。また、リモートワークも定着してくるという予想から、全体としては良くなっていく。
<input type="radio"/>	テーマパーク（職員）	・子供たちが夏休みに入ったため、家族層による旅行や外出の雰囲気は醸成されつつある。あとはきっかけをいかにうまく提供できるかであり、何となく表面化しつつある外出意欲を、うまくつかまなければならない。
<input type="radio"/>	観光名所（経理担当）	・10月に入れば、若い世代もワクチンを1回は接種できると予想される。接種したくてもできないという、今の状況とは異なるため、更に新型コロナウイルス感染症の収束への期待が広がってくる。
<input type="radio"/>	ゴルフ場（支配人）	・ワクチン接種が進み、東京オリンピックも無事に終了すれば、生活は安定し、景気も良くなる方向となる。
<input type="radio"/>	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	・ワクチン接種が進むことにより、外出の意欲が高まる。
<input type="radio"/>	住宅販売会社（総務担当）	・ワクチン接種の増加に伴い、客の動きが少し出始めている。
<input type="radio"/>	その他住宅〔展示場〕（従業員）	・住宅展示場はコロナ禍でイベントが中止となり、立ち寄り客は激減したが、モデルハウスの見学予約数や出展企業の契約は増加傾向にあるなど、家を建てる計画のある実需客は増加している。
<input type="radio"/>	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	・2～3か月後には、ワクチン接種が進んでいることを期待し、少しは生活環境にも良い変化が出てほしい。
<input type="checkbox"/>	商店街（代表者）	・まだしばらくは大きく改善する状況にはない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔花〕（経営者）	・社会的に落ち着かなければ、景気の回復は見込めない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔時計〕（経営者）	・季節が変わり、マスクをしていても少し過ごしやすくなるが、ワクチン接種が若年層にどの程度広がるのか、全く予想がつかない。4回目の緊急事態宣言が発出されるため、景気を含めた日々の生活について、先行きは楽観視できない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・世間の目はしばらく東京オリンピックに注がれるが、経済の停滞は戻らない。元々夏枯れの時期であるため、更に枯れ果ててしまいうのである。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕（店長）	・東京オリンピックが始まり、本来であれば好景気になるところが、小売店や飲食店は苦しい状況が続いている。このままの状態が続くようであれば、今後も期待できない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	・呉服を扱っており、高齢者の客が多いため、外出の自粛が続いていると感じる。新型コロナウイルスの感染がもう少し収まれば、景気も上向くと考えている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	・お盆を控えているが、まん延防止等重点措置の影響もあり、景気の回復は難しい。

<input type="checkbox"/>	百貨店（売場主任）	・食料品については、外出や外食を控え、自宅でおいしい物を食べる流れが続くと予想されるため、総菜を中心に好調が続く。ただし、まだまだイベントなどの自粛ムードが続くため、ファッション関連では厳しい状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	・全国的な新型コロナウイルスの感染第5波の拡大が懸念されるなか、緊急事態宣言が再発出されるおそれがあり、業況の業種間格差が明確になると予想される。小売や流通関連では、ワクチン接種による心理的なプラス効果もあるが、一進一退の状況が続くようである。また、東京オリンピック・パラリンピック終了後の国民の反応にも注意する必要がある。
<input type="checkbox"/>	百貨店（店長）	・ワクチンの接種状況次第である。若年層の人流が変わることはないため、新型コロナウイルスの感染率が下がらない限り、景気は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（特選品担当）	・現時点では先行きが全く分からない。業況が良くなり始めたら、緊急事態宣言が発出されるという繰り返しであり、ワクチン接種が進んでも、新型コロナウイルスの変異株が新たに出現して猛威を振るう。小売業という視点からは、正直なところ、将来が全く見えない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの変異株の感染急拡大は不安であるが、ワクチンの接種が相当進むことを考えると、来客数の回復が見込まれる。生鮮食品といった調理素材の動きの回復が期待される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ワクチン接種率の上昇はプラス要因となるが、首都圏は東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるほか、衆議院議員選挙などによる国政の変化次第で、更に景気が後退する懸念がある。関西も首都圏の景気に左右される可能性が高く、予断が許されない。個人消費は、国内旅行の増加や海外旅行の復活、社会や学校行事、コンサートなどの回復が鍵となる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ワクチン接種は進んでいるが、新型コロナウイルスの感染者数が減らずに、今のような状況が続けば、景気にも変化はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ワクチン接種は増えているものの、依然として新型コロナウイルスの感染者数が多いため、飲食や旅行、イベント関連は厳しい状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・お盆には墓花、仏花がよく売れるが、野菜は単価が安い物が多い。果物もよく売れるが、近年は農家が人手不足なのか、すぐに出荷が終わり、品物がそれほど入ってこないケースが多い。それに伴い、大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・今よりも良くなるとは思えないが、大きく下がることもないと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大や、緊急事態宣言の影響が懸念されるが、客もこのような状況での買物に慣れてきている。パニックになることもなく、売上は高水準での推移が予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・ワクチン接種の完了時期が、秋～冬頃になったとしても、外食、観光産業が回復し、徐々に中食や内食から需要が戻るのは、22年度以降になると予測している。今から3か月後では、まだまだ現状の傾向が続いていると予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（開発担当）	・コロナ禍で販売量も余り伸びていない。飲食業も営業時間の制限があり、売上が上がっていないため、今後景気が良くなる可能性は低い。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・様々な規制が解除されれば、販売量が変わってくるため、先行きに期待している。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・社員が出勤しなくても、問題なく業務を遂行できることを各企業が知ったため、今後もビジネス街の人出は戻らず、低水準のまま推移することが予想される。また、再び緊急事態宣言が発出されたとしても、一般市民の行動はもう余り変わらないと感じる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・東京オリンピックの終了や、最低賃金の引上げ、新型コロナウイルスの感染拡大など、良い材料がないと感じる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・最低賃金も変更されるため、企業による新たな雇用が難しくなる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言の発出により、またしばらくは現状維持となる。景気の変化する兆しは見られない。

<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・緊急事態宣言下であり、周囲の店も様子を見ながら動くと思われ、来客数への影響は不透明である。来客数全体としては戻りつつあったが、現状維持か、少し減ることも予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの感染収束も見通せず、現状維持が精一杯である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・ある程度、会合などの動きが元に戻るのには、ワクチン接種が進んだ11月以降と考えている。それまでは一定の影響が残る。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・7月に限らず、今年に入ってから緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、来客数は悪い状態のままである。3か月後には秋冬商戦ということもあり、期待しているが、8月からは緊急事態宣言が発出されるため、来客数はそれほど見込めない。一刻も早い、ワクチン接種率の上昇と、新型コロナウイルスの感染収束を願っている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売担当）	・また大阪で緊急事態宣言が発出されるが、今の状況で出されても、何も変わらない。一方、客には購買意欲がみられないため、売行きは伸びない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（営業・販売担当）	・サラリーマンによる来店や購入が非常に少ない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加で、在宅率が上がり、来客数も厳しくなる。一方、感染者数が減少すれば、今よりも来客数が増え、景気も若干回復すると予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・先行きが不透明である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・ワクチン接種は進まず、新型コロナウイルスの感染者数は増える一方である。たまに中古車は売れるが、勢いが無い。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加しており、緊急事態宣言が全国で発出される可能性があるため、今後も厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店長）	・営業への規制が長引き、また他の気候条件なども重なっているため、先行きは楽観できない。悪い状況のまま秋を迎えることも予想される。足元の客足の鈍さも、ワクチンの接種が遅れ、世間の不安が解消されていないことが原因の1つである。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝石]（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まるかどうかで、景気は左右されるが、ワクチンの接種が国民全体に広がれば上向いていく。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [食品]（経営者）	・次の衆議院選挙のために新型コロナウイルス対策を利用する政治家が多く、全く先行きが見えないため、経済は良くならない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [ドラッグストア]（店員）	・明日からの4度目の緊急事態宣言により、恐らく客の動向は変わらないが、収入の減少や将来的な不安により、買い控えが広がると予想される。緊急事態宣言が解除になったとしても、以前のような景気に戻るまでには相当な時間が掛かる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・ワクチン接種の増加による不安の解消などで、人流が増えている。さらに、それに伴う新型コロナウイルスの感染者数の増加で、緊急事態宣言が発出されるなど、先が見えない。固定客に対していろいろな提案を行い、細々と販売を続けているが、以前のような売上には戻らない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [スポーツ用品]（経理担当）	・ワクチン接種の拡大で、新型コロナウイルスの重症者数や死者数が減少し始めれば、消費のアップにつながる。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	・ワクチン接種の開始後も、新型コロナウイルスの感染は拡大傾向にある。東京オリンピックの開催も無観客になるなど、状況は好転していない。緊急事態宣言の発出地域が拡大される可能性もあり、良くなる要素は見当たらない。ただし、生活必需品の動きについては、現状維持が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（企画担当）	・ワクチン接種の拡大による、来客数の増加を期待したい。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・最近では、何かキャンペーンをしたときにしか受注量が増えない。

<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・まだまだ新型コロナウイルスの感染の収束時期がみえない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・周辺企業はテレワークなどを除き、普通に業務を行っているが、外食禁止令が出されているケースも多い。その結果、飲食店を利用せずに、路上やコンビニで飲酒する動きも増えているが、これでは景気回復にはつながらない。少しでも早く、新型コロナウイルスの感染の原因を突き止めることが、景気回復への一番の方法である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置などの繰り返しとなっている。期限が過ぎれば人流が押し寄せ、新型コロナウイルスの感染者数が増えれば、人の流れがなくなるという状況が繰り返されている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（店員）	・新型コロナウイルスの感染者数が増えても、余り気にせずに外食を楽しむ傾向にあるが、更に客が増える要素はない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・今の新型コロナウイルスの感染状況をどう判断し、人流に対応するかによって左右される。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が減少していない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（販売促進担当）	・先の宿泊予約は以前と変わらず、余り動きはない。土曜日の宿泊に限って、直近や当日に予約が入り、稼働率が毎週15%ほど伸びている。レストランもいつもと動きは変わらず、新型コロナウイルスの感染者数が増えても、現在のような動きが続くと予想される。一方、宴会や会議にはまだ動きが見られない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（店長）	・緊急事態宣言の発出は8月31日までであるが、その後もどうなるかは分からず、景気が回復するとは思えない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（支店長）	・東京オリンピック・パラリンピックでの日本選手の活躍で盛り上がりつつも、その間に新型コロナウイルスの感染が落ち着かなければ、現在の悪い状況からは変わらない。実際の動きが増える予感はない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・景気の良くなる要因が見当たらず、政府が必要な政策を用意しているのかも不透明である。全てがうまく回っていくような歯車を細かい部分から回し、雪だるま式に景気が拡大するような政策を期待している。
<input type="checkbox"/>	通信会社（社員）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況に大きく左右される。前回の緊急事態宣言時と同様に、休業を余儀なくされる店舗も出ると予想される。
<input type="checkbox"/>	観光名所（企画担当）	・東京オリンピックが始まり、人々の気持ちの緩みか、来場者数が少し増えている。ただし、東京オリンピックが終わった後の状況がみえないため、基本的には今の状況から変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・まん延防止等重点措置による事業活動の制限が続いているほか、新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあるため、現時点で将来に明るい見通しを持つことができない。全世代へのワクチン接種が早期に実現することを切に願っている。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・ここ数年の傾向と変わらない動きとなっている。ただし、新型コロナウイルスの感染拡大で緊急事態宣言が発出されることになれば、状況は悪くなる。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・依然として電話投票やインターネット投票が高水準で推移しており、しばらくは今の状況が続くと予想される。あとは、新型コロナウイルスの感染状況次第である。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・東京オリンピックの開催で経済が動いていることは体感できている。このままワクチン接種と新型コロナウイルスの感染の抑制が進み、日常を取り戻す動きが活発化すれば、景気は上向きとなるが、現時点では判断が難しい。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [複合商業施設]（職員）	・ワクチン接種の進捗や、新型コロナウイルスの感染者数、重症者数の動向次第である。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・プロ野球の公式戦の入場者数は、依然として5000人が上限である。8月にはコンサートも予定されているが、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあるため、予断が許されない。全体として、3か月後の状況は不透明であり、現状と変わらないと予想している。

□	美容室（店員）	・単価が上昇する一方、来店周期が延びる傾向は、しばらく変わらない。
□	その他サービス [マッサージ]（スタッフ）	・アロマオイルマッサージで服を脱ぐため、例年は冬よりも夏の方が来客数は増えるが、今年は新型コロナウイルスの影響で不透明な状況である。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が劇的に減少するまでは、今の状況が続くと予想される。
□	その他住宅 [情報誌]（編集者）	・高額消費の好調に伴い、以前よりも高額物件の動きが活発化しているものの、新型コロナウイルスの感染収束の見通しが不透明になっているため、心理的な悪影響が拭えない。
▲	百貨店（マネージャー）	・ワクチン接種の年代は広がるものの、新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や、中間層の消費意欲の減退などで、積極的な消費は見込めない。
▲	百貨店（宣伝担当）	・月末にかけて新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向になったほか、ワクチンの接種がなかなか進まないことから、主要客層である40代以上の客足が再び鈍くなっている。夏休みでも帰省や外出を控える人が多く、関連消費の伸び悩みも予想される。
▲	スーパー（店長）	・店員の募集をすると、以前よりも希望者が多いなど、引き続き失業者が増えていると感じる。
▲	スーパー（店長）	・コロナ禍による影響は大きく、モノに対する必要以上の出費は、引き続き抑えられる。
▲	スーパー（企画担当）	・大阪にも緊急事態宣言が発出されそうである。新型コロナウイルスによる特需といわれた売上はもうなく、自力での売上確保が必要である。
▲	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスへの慣れで、自家需要が以前の水準に戻りつつある。
▲	スーパー（社員）	・前年度は多くの店舗で食品部門の売上が大きく伸びた。今後しばらくは、その反動減が続くと予想している。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスの感染者数が増え続けているため、今後は緊急事態宣言が発出される可能性もあり、心配である。
▲	コンビニ（店員）	・夏休みのシーズンが終われば、少し落ち着く。
▲	家電量販店（経営者）	・半導体不足により、年内は商品の欠品が続くようで、販売量の減少につながる事が予想される。
▲	家電量販店（店員）	・東京オリンピックのようなイベントがあるにもかかわらず、特需の動きが見られない。さらに、今後は購買意欲を高めるような材料も見当たらない。最低限の買換え需要はあるとしても、単価が下がっているため、売上が全体的に右肩下がりとなることは避けられない。
▲	家電量販店（店員）	・新型コロナウイルスの影響は、これから家電量販店にも遅れて出てくる。
▲	家電量販店（営業担当）	・東京オリンピックの開催後、経済にどのような影響が出るのか分からないため、先行きが不安である。
▲	家電量販店（人事担当）	・前年が巣籠り需要で好調となった反動が予想される。秋に向けて白物家電の処分を進め、秋の調理家電の需要につなげていきたい。
▲	乗用車販売店（経営者）	・半導体の不足により、自動車の生産が遅れている。新車の購入に要する時間も長くなり、売上が伸びない。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・半導体不足により、今月以降の自動車の生産に影響が出てくる。生産が遅れれば、車も入荷しないため、販売台数は再び減少することが予想される。
▲	乗用車販売店（販売担当）	・ワクチン接種の鈍化や、4度目の緊急事態宣言の発出など、景気回復を期待するには厳しすぎる環境である。
▲	その他小売 [インターネット通販]（経営者）	・収入の減少による先行き不安のため、景気は悪くなる。
▲	一般レストラン（企画）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加傾向にあり、飲食業への販売制限が更に厳しくなる。ワクチンの接種が進み、感染者数に変化が出るまでは、厳しさが増すと予想される。
▲	その他飲食 [自動販売機（飲料）]（管理担当）	・また緊急事態宣言が発出される。まん延防止等重点措置との違いは今一つ分からないが、上向きになる要素はない。この状況では、打つ手もないという雰囲気を感じられる。
▲	観光型ホテル（経営者）	・8月2日からは酒類の提供も規制されるため、予約の動きが止まっている。

	▲	観光型旅館（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増え、またいろいろな制限が出てくる可能性がある。
	▲	都市型ホテル（スタッフ）	・新型コロナウイルスの感染第5波が生まれつつある状況で、各部門の予約率が下がっている。食事を伴う宴席の予約はほぼ皆無であり、会議利用のみの収入となっている。一方、宿泊部門では長期滞在客以外は当日予約の客が増えるなど、事前に予約せず、直近で安価なホテルを探す動きが多い。食堂はランチこそ好調であるが、やはりディナー営業で苦戦を強いられている。
	▲	都市型ホテル（フロント）	・8月以降、レジャーでの利用による回復を見込んでいたが、ここへきて緊急事態宣言が再び発出されることになり、非常に厳しい状況となっている。ビジネス利用についても、1泊2食付のプランや、デイユースのプランを強化して取り込んでいく予定である。
	▲	タクシー運転手	・法人関係の営業回りなどで、予約が回復する見込みが全くない。
	▲	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・緊急事態宣言が繰り返されるなか、外出の自粛以外に打つ手がなければ、景気回復は困難である。
	▲	住宅販売会社（経営者）	・なかなか先の見通しが立たないなか、閉塞感が漂っている。
	▲	住宅販売会社（従業員）	・分譲マンションの販売単価は徐々に上昇しており、購入希望者の条件とのかい離が出てくることが予想される。
	▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で所得の減少がみられるため、景気の後退が予想される。
	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・ワクチンの接種が進まない。
	×	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・大阪でも8月から緊急事態宣言が発出される見通しであり、また悪い状況に逆戻りとなる。
	×	百貨店（企画担当）	・当地域では、8月からまん延防止等重点措置が適用されるため、消費者心理への悪影響が懸念される。
	×	スーパー（経営者）	・観光業の動向が景気に大きく影響する当地域では、緊急事態宣言の発出で様々な業種に悪影響が出る。
	×	コンビニ（経営者）	・8月2日から緊急事態宣言が発出されるため、最初はビジネス街の人流が10%ほど減少するが、何度も宣言が出ているため、日が経つにつれて、徐々に人の流れが増える可能性がある。
	×	衣料品専門店（経営者）	・服を買わない状況に慣れてしまい、新しい服がなくても生きていけるという感覚をもち始めているため、今後も売れないと感じる。
	×	家電量販店（企画担当）	・大変な猛暑が続いているが、夏物商戦の時期が半月ほどずれ込んだ影響で、販売のタイミングを逃している。さらに、将来への不安から所得を貯蓄に回す傾向が強まっており、しばらくは消費の拡大につながりにくいと予測される。
	×	住関連専門店（店員）	・緊急事態宣言がまた発出されるなかで、良くなるわけがない。
	×	その他飲食〔ファーストフード〕（店員）	・新型コロナウイルスの感染第5波が強まっているほか、東京オリンピックの開催による海外からの入国もあり、感染がかなり急速に拡大している。このような状況で経済がうまく回るわけはなく、商売としても来客数の大幅な減少に困惑している。今後、景気は悪くなる一方となる。
	×	その他飲食〔ジャズバー〕（店員）	・新型コロナウイルスの影響が続く。
	×	観光型ホテル（客室担当）	・新型コロナウイルスの感染が収束しない。
	×	都市型ホテル（管理担当）	・緊急事態宣言が再発出され、いつになれば収束するか分からない状況では、更なる落ち込みが予想される。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	繊維工業（団体職員）	・ワクチン接種が進むにつれて、いろいろな物が動き出す。
	○	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・ワクチン接種が更に進み、ようやく景気回復の期待も出てきている。今後は業種を問わず、景気が全体的にやや良くなると予想される。
	○	金属製品製造業（経営者）	・受注は安定しており、新規商品の引き合いも増えてきている。

○	金属製品製造業（開発担当）	・繁忙期に入るため、忙しくなると予想されるが、コロナ禍により不透明である。
○	電気機械器具製造業（経営者）	・良くなることを期待しているが、コロナ禍がなかなか落ち着かないのに加え、半導体に関する世界的な流れが非常に悪い。ただし、先行きに不安は感じているが、3か月程度の短期間であれば、良い動きとなりそうである。
○	通信業（管理担当）	・東京オリンピックの開催で景気は良くなりそうだが、東京では緊急事態宣言が発出され、その他の都市でもまん延防止等重点措置などの影響で、景気は少し良くなるか、足踏み程度と予想される。
○	金融業（副支店長）	・今後3か月で、ワクチン接種率もかなり上がると予想され、徐々に景気は回復していくことが予想される。
○	金融業〔投資運用業〕（代表）	・さすがに新型コロナウイルスの感染者数は減ると予想される。東京オリンピックも無事に終わることができれば、緊急事態宣言の発出地域もなくなる。今後、まさに啓ちつの時期を迎えられることを期待したい。
□	食料品製造業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染者数が再び増加傾向にあり、新たにまん延防止等重点措置の要請も検討されている。再び悪い状況に戻ることも想定されるため、先行きに不安を感じる。
□	食料品製造業（営業担当）	・7月の4連休以降、新型コロナウイルスの変異株の感染が広がっており、人の流れが止まるため、売上に大きな変化はない。
□	木材木製品製造業（経営者）	・主な仕入先である海外の取引先は、新型コロナウイルスによるロックダウンや政府の規制により、生産体制が整わない状況にある。うまく感染が収まれば、8月には生産ができるようになるが、今のところは全く見通しが立たない。
□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大、半導体の不足といった問題が解消されるとは思えない。
□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・今年に関しては、余り変化はないと予想している。
□	化学工業（経営者）	・日々の受注額は2～3か月前から例年並みに戻っており、上振れ要素もないことから、景気はしばらく変わらない。
□	化学工業（管理担当）	・取引先からは、現状が続くとの情報を得ている。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・今後数か月の見通しとしては、最悪の状況に変化はないと予想される。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・新型コロナウイルス対策での人流の抑制が続く。
□	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注は今後も少し悪化傾向か、横ばいの動きが続きそうである。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・東京オリンピックに伴う需要の増加が余りみられない分、開催後の減少も小さいと予想される。
□	輸送用機械器具製造業（役員）	・大型搬送設備の引き合いや問合せが増えないため、売上や利益の増加が見込めない。
□	建設業（経営者）	・今の市場をみると、今後も厳しい状況が続くと予想される。
□	建設業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの感染状況により、取引先の設備投資も変化してくる。先の読めない不透明な状況である。
□	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大もあり、9月頃までは広告の出稿は戻りそうにない。
□	広告代理店（営業担当）	・紙媒体、Web媒体共に、広告売上が2年前とは変化がない。
□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・今後も現状のような動きが続き、すぐには変わらない。
□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・ワクチンの接種が進む一方、東京を中心とした新型コロナウイルスの感染者数の急増が、やがて関西にも波及してくる。東京オリンピックの開催に伴う、海外からの渡航者による感染が追い打ちを掛けないことを祈る。
□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・コロナ禍の状態で、余り前には進めなくなっているため、堅実に取り組むしかない。
□	その他非製造業〔商社〕（営業担当）	・東京オリンピック・パラリンピックが終了した後の、新型コロナウイルスの感染状況次第となる。ワクチン接種が進んだ後にどうなるのかが不透明であり、現状は何とも言いようがない。

	▲	繊維工業（総務担当）	・靴下の販売額が伸び悩んでおり、同業他社でも同様の動きとなっている。コロナ禍による影響は、消費者にとって必要性の高い業種から徐々に回復していくため、靴下の回復は遅れることが予想される。
	▲	繊維工業（総務担当）	・お盆などで営業日数の少ない時期を迎えるため、集客状況が気になる。
	▲	プラスチック製品製造業（経営者）	・2～3か月後のプラス要因を探しても見当たらない。もう少し先を見据えた仕切り直しが必要となっている。
	▲	金属製品製造業（営業担当）	・原材料価格の更なる値上がりが見込まれ、採算の悪化が懸念される。
	▲	電気機械器具製造業（営業担当）	・大阪でも新型コロナウイルスの感染者数が増えてきているため、先行きが不透明である。
	▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・兵庫県では緊急事態宣言、まん延防止等重点措置は解除されたが、東京では緊急事態宣言が発出された。新型コロナウイルスの新規感染者数は増え、感染第5波が始まっているため、まだまだ影響は長期化することが予想される。
	▲	建設業（経営者）	・周辺でも新型コロナウイルスの感染者数が増えてきた。今後は巣籠り傾向がますます強まり、消費マインドが落ち込む恐れがある。
	▲	建設業（営業担当）	・来年以降の設備投資計画の延期や、変更の動きが増えていると感じる。
	▲	輸送業（商品管理担当）	・来月から緊急事態宣言が発出されるため、酒類の販売が減少する。
	▲	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、外出を控える人が増えると売れないため、配達件数も増えない。
	▲	金融業（営業担当）	・東京オリンピック・パラリンピックの終了後に、新型コロナウイルスの感染者数が増えることになり、良い方向には進まないことが予想される。
	▲	経営コンサルタント	・今の状況よりも良くなる兆しはほとんど見当たらない。政府の様子を見ていても、新型コロナウイルスの感染収束は見通せないため、良くなるとは思えない。
	▲	司法書士	・新型コロナウイルスの感染者数が過去最多となり、医療体制がひっ迫しつつあるなか、東京オリンピックや夏休み、お盆などでの感染拡大の不安が増している。景気の状況はかなり厳しい。
	×	化学工業（企画担当）	・東京オリンピックの特需には期待できないほか、食品の原料価格の高騰は続いている。販売価格への転嫁はタイムリーに進まないため、先行きが懸念される。
	×	輸送業（営業担当）	・新型コロナウイルスによる不況で、お中元が前年比で減少した分、利益が落ちている。
	×	不動産業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で、空き店舗が増えつつある。兵庫県では今のところ緊急事態宣言は発出されていないが、感染者数が増えつつあるため、今後は発出の可能性が高く、景気は悪くなると予想される。
	×	その他非製造業〔民間放送〕（従業員）	・今期の業績の悪化で、来期の広告宣伝費を引き締める企業が増えると予想される。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染収束が見通せないため、対策が打てない。
雇用 関連 (近畿)	◎	人材派遣会社（支店長）	・ワクチン接種が完了すれば、間違いなく回復すると予想される。
	○	人材派遣会社（営業担当）	・ワクチンの接種も進み始め、各企業の活動が以前の水準に戻りつつある。
	○	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあり、変異株の感染者数も増えているが、人の自制心はどんどん緩んできていると感じる。人が動けば消費も増え、景気も上向いてくると予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・緊急事態宣言の発出により、新型コロナウイルス関連の求人が増加する。
	□	人材派遣会社（経営者）	・コロナ禍の状況次第である。派遣社員を水道の蛇口のようにうまく使ってきた企業は、こういうときにも慌てずに淡々と進めており、派遣会社も安心して取引している。一方、景気は一進一退の状況が続くようである。
	□	人材派遣会社（役員）	・新型コロナウイルスの感染者数が激増しており、ワクチンが行き渡るまでは、今のような景気が続くことが予想される。

□	新聞社〔求人広告〕（管理担当）	・東京、大阪を始め、大都市では新型コロナウイルスの変異株による感染拡大が続き、今後どこまで拡大するかが見通せない。東京オリンピックが始まり、夏休みも迎えたことで、緊急事態宣言下でも人流は減っていない。東京オリンピックの開催やワクチンの接種による経済的なプラスを、感染拡大によるマイナスが相殺することになると予想される。
□	職業安定所（職員）	・新規求人数には、製造業の一部で改善がみられるが、新規求職者数も徐々に増加傾向にあるため、景気全体に変化はない。
□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染者数次第である。
□	民間職業紹介機関（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束しないため、状況は大きく変わらない。
□	民間職業紹介機関（営業担当）	・求人数の推移は大きく変わらないと予想される。ただし、事務職の求人は年々減っているため、職種を限定して志望する学生は苦戦することになる。また、3か月後には来年度の採用を見据えた、冬のインターンシップの募集が始まる。当社のアンケート調査では、募集企業数は前年から微減となっているため、来年度の採用予定数が注目される。
▲	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染者数の増加と、ワクチン接種の広がりとのバランスにより、景気の回復度合いが変わる。
▲	アウトソーシング企業（管理担当）	・通常の仕事が減り、厳しい状況が続いている。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの変異株の感染拡大や、人流の増加により、企業間に警戒感が広がるおそれがある。求職者の動きは、ワクチンの接種が2回終わるまで本格的な就職活動を控える傾向が顕著であり、特に高齢者や基礎疾患がある人の中で目立っている。それに伴い、今後2～3か月で雇用情勢が本調子に戻るとは考えられない。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	・以前よりも先行きが見通せるようになっている。ワクチン接種の状況にもよるが、新型コロナウイルスの感染者数が減少すれば、正常な状態に戻ることが期待される。ただし、東京都の感染者数の増加は気懸かりであり、予断を許さぬ状況に変わりはない。
×	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続いている。2～3か月先の売上も、前年比で70%の予想である。
×	職業安定所（職員）	・7月は新規求人、新規求職共に、前年比で増加傾向となっているが、新型コロナウイルスの感染再拡大による、企業の採用活動や求職者の再就職活動の減退が懸念される。